

眼科コース

(1) コースの全体像

眼科の後期臨床研修は、1) 専門医コース、2) 大学院コースの2つがある。

1) 専門医コース

卒後1年目： 卒後初期臨床研修

卒後2年目： 卒後初期臨床研修

卒後3～6年目： 岐阜大学医学部附属病院または学会認定専門医研修施設において研修。4年の間に大学病院を含めて平均2箇所程度を異動し、病院・地域に即した様々な研修を行う。岐阜大学附属病院では、多様な疾患に対し、より高度な診療と手術治療を研修する。

2) 大学院コース

卒後1年目： 卒後初期臨床研修

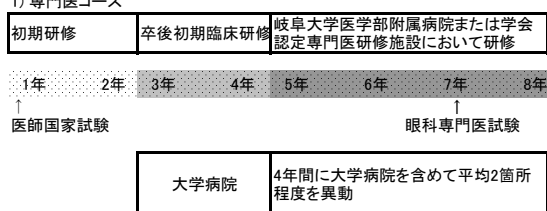
卒後2年目： 卒後初期臨床研修

卒後3年目： 岐阜大学医学部附属病院医員として眼科医の初期研修を1年間。

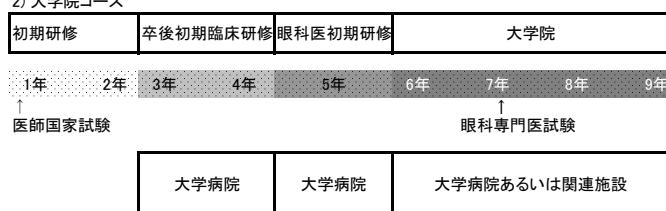
卒後4～7年目： 大学院入学。社会人大学院生として、緑内障あるいは他の眼疾患に関する研究の基礎・応用を学びながら、主に緑内障専門外来で臨床研修も行う。

【概要図】

1) 専門医コース



2) 大学院コース



(2) コースの概要

大学病院・ 医療機関 名	診療科名	専門分野 名	指導 者数	目 的	養成（受 入）人数	期 間
岐阜大学 医学部附 属病院	眼科	眼科学	7名	日本眼科学 会認定専門 医資格の取 得および医 学博士取得	一学年あ たり5名 以内	4年以上
岐阜県総 合医療セ ンター	眼科	眼科学	3名	眼科臨床の 基礎研修な らびに地域 医療研修	一学年あ たり1名 以内	1年以上
岐阜市民 病院	眼科	眼科学	2名	眼科臨床の 基礎研修な らびに地域 医療研修	一学年あ たり1名 以内	1年以上
大垣市民 病院	眼科	眼科学	3名	眼科臨床の 基礎研修な らびに地域 医療研修	一学年あ たり1名 以内	1年以上
				受入人数	5	

(3) コースの実績

日本眼科学会認定専門医はほぼ100%取得可能である。眼科医としての基本技能は手術技能を含めて取得可能である。眼科学、特に緑内障学における基礎および臨床研究により医学博士が取得可能である。

(4) コースの指導状況

「医学一般の知識に加えて、日々の眼科外来・病棟診療での経験を重ねることで、眼疾患の高度な専門的知識・診断・治療技術を修得する。また関連領域に関する幅広い知識をもって、全身疾患との関連性について他科と連携しながら、眼科医としての診療の質を高める。また眼科学の進歩に積極的に携わり、患者と医師との共同作業としての医療の進歩に努める。」という理念の下、日本眼科学会専門医8名を中心に指導を行っている。

(5) 専門医の取得等

学会等名	日本眼科学会
資格名	眼科専門医
資格要件	指定施設（岐阜県内では岐阜大学附属病院のみ）の1年間の研修を含む4年間の眼科臨床歴、学会発表2以上、論文発表1以上
学会の連携等の概要 日本眼科学会の眼科研修医ガイドラインに沿った研修を行う。研修プログラムは日本眼科学会の承認を受けている	